

2025 SUPER GT300 Round.7 AUTOPOLIS

~ Race Report ~



VELOREX
Fueled by Ambition

Team Le Mans

大会概要

2025 年 SUPER GTシリーズ 第7戦

大会名称

2025 AUTOBACS SUPER GT Round 7 AUTOPOLIS GT 3 Hours RACE

開催日時

10月18日 土曜（公式練習 / 予選） 10月19日 日曜（予選 / 決勝）

開催サーキット

大分県オートポリス インターナショナル レーシングコース（1周：4.674 km）
所在地：大分県日田市上津江町上野田1112-8

同時開催レース

2025 年FIA-F4選手権シリーズ第11戦・第12戦

主 催

株式会社GTアソシエーション(GTA) / オートポリス倶楽部(APC) / 株式会社オートポリス

公 認

国際自動車連盟（FIA） / 一般社団法人 日本自動車連盟（JAF）

認 定

株式会社GTアソシエーション(GTA)

協 力

大分県 / 日田市

後 援

経済産業省 / 国土交通省 / 国土交通省九州運輸局 / 自由民主党モータースポーツ振興議員連盟 /
大分県 / 熊本県 / 日田市 / 竹田市 / 別府市 / 由布市 / 菊池市 / 阿蘇市 / 大津町 / 小国町 / 南小国町 /
日田市観光協会 / 大分市観光協会 / 竹田市観光 Tourismus 協会 / 別府市観光協会 / 由布市まちづくり
観光局 / 阿蘇市観光協会 / 菊池観光協会 / 肥後おおづ観光協会 / ASOおぐに観光協会 / 南小国町
観光協会



◆ チーム体制

- チーム名 VELOREX
- 車両名 UNI-ROBO BLUEGRASS
FERRARI 296 GT3
- カーナンバー 6
- タイヤ 横浜ゴム株式会社
- ドライバー



片山 義章
YOSHIAKI KATAYAMA

生年月日 1993年11月13日
出身地 愛知県
身長 168cm
体重 69.3kg
血液型 RH+O



ロベルト メリ ムンタン
ROBERTO MERHI MUNTAN

生年月日 1991年3月22日
出身地 スペイン
身長 178cm
体重 70kg
血液型 RH+O

- エントラント代表 古場 博之
- チーム監督 小倉 啓悟
- スタッフ

チーフエンジニア	Mattia Oselladore
チーフメカニック	片岡 恵人
広報兼マネージャー	宅間 美帆
- レースアンバサダー



ENA、YUYU (VELOREX アンバサダー)
城戸ひなの (TONE モタスポ サポートギャルズ)
新堂まみ、市原 薫
(UNI-ROBO アンバサダー from Pacific)

■ スポンサー

アスカ株式会社	株式会社ソフト99オートサービス	サンディスク株式会社
株式会社C I S	M I D T O W N B B Q	有限責任中部総合監査法人
O I R C	青山エレベーター株式会社	ARMS株式会社
T O N E 株式会社	医療法人社団ヒロデンタルクリニック	見田工作株式会社
ニチアス株式会社	カトー機械株式会社	愛知電線株式会社
学校法人高岡学園 高新自動車学校	株式会社ジョイフル設備	笹原金型株式会社
ザーレン・コーポレーション株式会社	株式会社アート買取協会	有限会社大和工業
D O B O T ジャパン株式会社	株式会社デジテックエイチピー	株式会社エイチアンドエフ
エバー株式会社	朝日金属株式会社	大成土木株式会社
株式会社コスモ開発	株式会社マイティミズタニ	株式会社E A S T
岡田金属株式会社	城東電機株式会社	株式会社P O O L

◆ 予 選

天候 雨

コース状況 ドライ / ウェット

気温 21℃ (GT300クラスQ1開始時)

路面温度 23℃ (GT300クラスQ1開始時)

予選開始 14時45分 (GT300クラスQ1-A組開始)



Team LeMansは本年度より正式にエントラント名をVELOREX とし、昨年に引き続き、FERRARI 296 GT3を投入してSUPER GT GT300クラスに参戦する。同クラス参戦5年目となる今シーズンは、昨年に引き続きマシン名を「UNI-ROBO BLUEGRASS FERRARI」とした。一方、ドライバーは第1ドライバーに片山義章、第2ドライバーにロベルト・メリ・ムンタンを継続起用。チーム体制も継続し、2024シーズンを上回る活躍を目指す。タイヤは、これまでどおりヨコハマタイヤを装着する。

今シーズンのSUPER GTでは予選方式が2023年までのノックアウト方式に戻されることとなった。GT300クラスの予選はグループA、グループBの2組にわけられ10分間の予選Q1が実施されるのは以前と変わらないが、予選Q2へは各組それぞれ1台ずつ増加し、それぞれ上位9台が進出となり、合計18台での予選Q2に挑む。つまり以前よりエキサイティングな予選Q2が観られることとなった。予選順位はQ2のタイム順で決定される。

またGT300クラスは28台が参加する激戦となるため、ポイントシステムも変更され、ポイント獲得可能な順位を15位までと拡大。一方でトップ10までのポイントは1位25ポイントにはじまり、それぞれ5ポイント増となった。それにより、これまでも増して10位から15、16位の争いが激しいものとなる。なお、ポールポジションにも1点が与えられる。

#6 UNI-ROBO BLUEGRASS FERRARI

予選結果：7位（予選Q 1:6位／片山選手：1分45秒099／予選Q2：7位／ロベルト選手：1分45秒374）

好天に恵まれたかのように見えたAUTOPOLIS、9時25分からSUPER GT第7戦の公式練習がスタートした。VELOREXのふたりのドライバーは、AUTOPOLISを得意としており、マシン特性もこのサーキットに向いているはずであったが、チームが持ち込んだタイヤと気温や路面温度がマッチしておらず、ふたりのドライバーはセッション開始早々からグリップ不足を訴えた。それでも順調にテストプログラムを消化し、次第にセットアップを煮詰めていく。セッション中もなかなかタイムが上がらず苦しんだロベルトと片山だったが、問題点を洗い出し、ロングランでは片山がコンスタントにラップタイムを刻んでいった。最後に確認の意味でロベルトが新品タイヤでアタックし9番手タイムをマーク。チームは予選への光明を掴み、午後の予選へと臨んだ。

午後の予選は14時45分から始まり、UNI-ROBO BLUEGRASS FERRARIはQ1グループAに片山が出走。新品タイヤでのアタックはぶっつけ本番となった片山だが、4周目に1分45秒099をマーク。グループAの6番手タイムでQ2への進出を決めた。

15時53分からのQ2では、雨が路面を濡らし始める中、ロベルトが4周目に1分45秒374をマーク。連続アタックでのタイムアップが期待されたがコースを飛び出したマシンのせいで黄旗が振られ、タイムアップは果たせなかった。それでも予選順位は7番手を確保し、決勝へ期待を持たせる4列目スタートとなった。

◆ 決 勝

天候	曇り
コース状況	ドライ
気温	22℃ (スタート時)
路面温度	25℃ (スタート時)
決勝レース開始	13時10分 (正式スタート時刻 13時16分44秒)
レース予定走行距離	3時間 95周 (正式フィニッシュ時刻 16時18分00秒)



#6 UNI-ROBO BLUEGRASS FERRARI (片山&ロベルト選手)

決勝結果：5位 (95周=3時間2分58秒095 ベストラップ：1分45秒937 ロベルト選手)

前日の予選で7番手グリッドを得たVELOREXは、前日のデータ解析をもとに、雨の可能性もある決勝に向けてフレキシブルな戦略が取れるよう攻めの作戦を構築した。午前11時40分から20分間のウォームアップ走行が実施され、ロベルトと片山は交互にステアリングを握り、決勝に向けて最後の調整を行なった。タイヤ摩耗のチェックも含め、戦略に間違いはないと自信を持って決勝に臨んだ。

13時10分、気温22℃、路面温度25℃というコンディションの中、交通機動隊が先導するパレードラップを含み、2周のフォーメーションラップの後に決勝レースがスタートした。今回のスタートドライバーはロベルトが務め、素晴らしい好スタートを切って第1コーナーでイン側から2台をパスし、5番手に浮上。そこからアグレッシブなレースを展開しながらポジションをキープ。後方から迫るマシンには要所を抑える頭脳的な走り序盤のレースを進めていく。ロベルトはタイヤと燃費を意識しながら安定したペースでコンスタントに周回を重ねたが、12周目にGT500クラスのマシンがクラッシュしたため、FCYからセーフティカーが導入された。これをチャンスと再スタートと同時にプッシュを続け、ヘヤピンで前車のインに飛び込み4位へと浮上。積極果敢なレースを展開し、30周目に片山へと交代。給油とタイヤ交換を終えて14番手で片山はレースに復帰した。

レースも残り2時間、片山のドライブで着実に周回を重ねる6号車UNI-ROBO BLUEGRASS FERRARIは、途中、タイヤのピックアップに悩まされた場面もあったが、冷静にそれに対処した片山は、次第にポジションを上げ始め、57周目には7番手までリカバーし、上位陣とのピット戦略の違いもあって、63周目に4位まで追い上げピットに飛び込んできた。再びロベルトがステアリングを握り、11番手でレースに復帰。そこからロベルトは満身の力で最後の追い上げを開始する。

6号車 UNI-ROBO BLUEGRASS FERRARIは、ハイペースで前のマシンを追い続けて毎ラップのように前車との差を詰めては抜き、そして更に前を行くマシンを追い詰める。結局4位まで追い上げたものの、4位争いの数周に渡る激しいバトルでタイヤを使い切ってしまう、最後は5位でチェッカーを受けたが、それはチームの誰もが称賛する走りだった。

片山 義章 選手のコメント

今回のレースはタイヤと路面コンディションが合っていなかったのか、公式練習から予想以上にグリップ不足に苦しみました。それでもエンジニアやメカニックたちが必死でアジャストしてくれて、予選ではなんとか戦えるポジションにまでマシンを仕上げてくれました。決勝はロベルトが素晴らしいスタートを決めてくれて5番手まで浮上し、そこから3時間の長い戦いを、一度の大きなミスをすることなく自分もチームも一丸となって戦い抜きました。自分のスティントでは、タイヤのピックアップがひどく、途中で思うようにペースが上がらず苦戦しましたが、最後まで諦めることなく上位を目指し、着実にポジションを上げ続けた攻めのレースが出来たと思います。ロベルトに交代するタイミングで雨が降ってくれればとも思いましたが、ロベルトも最後までフルプッシュの素晴らしいレースを見せてくれたおかげで、ピットでもすごく盛り上がり、4位を逃したのは残念ですが、次の最終戦に向けていい雰囲気の中でレースが終われたと思います。最終戦のモビリティリゾートもてぎは余り好きなコースではないですが、特に苦手というわけでもないで、我々のパフォーマンスを出し切って、もう一度、優勝を狙って頑張ります。応援ありがとうございました。



ロベルト・メリ・ムンタン選手のコメント

公式練習から、決勝まで、自分たちのマシンのパフォーマンスは完璧とは言えなかったと思います。特に持ち込んだタイヤと路面がマッチしていなかったこともあり、公式練習では苦戦を強いられました。予選はトラフィックがひどく、アタックラップは黄旗で邪魔され、納得いくタイムが出せなかったのですが、公式練習から考えれば満足できるタイムは出せていたと思います。決勝はスタートが決まり、プッシュしつつもタイヤをセーブする形で最初のスティントは頑張りました。後半のスティントは前に行くことに集中してフルプッシュで限界まで攻めて走ったのですが、表彰台まであと少し届きませんでした。それでもファステストラップは全体で2番手タイムを出せたので、チームのパフォーマンスも自分の走りも今回のレース結果には満足しています。次のモビリティリゾートもてぎでの最終戦は、事前テストでも悪くなかったので、優勝を狙って頑張りたいと思います。



小倉 啓悟 監督のコメント

今回は土曜日、日曜日ともに多くのチームがたくさんのアクシデントに見舞われたり、ペナルティを課されたりした荒れた展開ではありましたが、自分たちのチームに関していえば、一切のペナルティも課されず、チームが一丸となって集中し、ミスなく過ごせたレースウィークだったと思います。公式練習での走り出しの苦戦を考えれば、予選の7位、そして決勝の5位は、うまくまとまったレースだったと思います。ロベルトのパフォーマンスも片山の安定感も素晴らしく、ドライバーの仕事ぶりには満足していますので、もう少しマシン側でアドバンテージを与えてあげられていたらと表彰台は得られたはずだったレースでした。次の最終戦までに、より完璧なパフォーマンスが出せるように全てのデータをチェックして、エンジニアと共に頑張って準備を整えたいと思います。

古場博之エントラント代表のコメント

公式練習での苦戦から、決勝での5位入賞まで持っていたことを考えれば予選、決勝を通じてチーム全体の一体感が感じられるレースウィークでした。片山選手は新品タイヤを公式練習で使うタイミングが無く、一気に3秒近くタイムアップする予選で素晴らしいパフォーマンスを見せてQ1突破をしてくれましたし、決勝レースでのロベルト選手の攻撃的な走りは観客目線で見てワクワクさせてくれるものだったと思います。本当は決勝ではレース中盤に雨が降ってくることを想定して、そのタイミングでロベルト選手がウェットパフォーマンスを発揮できるようにスタートドライバーをロベルト選手で行くフレキシブルな戦略を取っていたのですが、そこは期待どおりには行きませんでした。それでもタイヤを使い切った中で激しい4位攻防戦を見せてくれたことに、チームとしては満足です。最終戦では有終の美を飾れるよう、いい戦いをお見せしたいと思っています。

UNI-ROBO

BLUEGRASS

WestCore

OIRC

ヒロ デンタル クリニック
Hiro Dental Clinic

ASAHI 朝日金属株式会社

CLIMAX
SOFT99 autoservice



TONE

zahren

SASAHARA

JOTO DIRECT



ニチアス

DOBOT

osmo
development

見田工作

愛知電線 株式会社

Digi-Tec
INTECNO

EVER
CORPORATION

AOYAMA
ELEVATOR

MIDTOWN BBQ
STEAK & SMOKEHOUSE

HA
Human & ARMS



H&F

MAITY
SAFETY SECURITY ENGINEERING SYSTEM

PACIFIC
RACING TEAM



株式会社
a.r.t. 買取協会

カトー機械株式会社

4EAST
EAST www.kkeast.net

AOI
TRUST
C O., L T D.

VELOREX
Fueled by Ambition

Sponsor introduction

Team Le Mans